

第 188 回 JMRC 中部運営委員会報告書

開催日時 2007 年 4 月 3 日 (火) 8:00PM~10:30PM

開催場所 名古屋市昭和区福江 JAF 中部本部 3F ミーティングルーム

《議題》

- I 前回議事録の確認
- II 各委員会部会報告
- III 平成 19 年能登半島地震
- IV その他

《議事》

鈴木運営委員長の挨拶に続き、嶽下副運営委員長を議長として議事進行が行われた。

I 前回議事録の確認

- ・ 第 187 回運営委員会議事録は修正なく、正式議事録として認められた

II 各委員会部会報告

【ジムカーナ部会】

- ・ 3 月 11 日 (日) チャンピオンシリーズ第 1 戦が鈴鹿サーキット南コースで開催された。
(主催: NRC) 参加は 142 台でスーパー1500 については参加 16 台であった。
雪が舞う寒い天候であったが、コース設定、競技会運営共によかった。
- ・ 4 月 1 日 (日) チャンピオンシリーズ第 2 戦が幸田サーキットで開催された。(主催: ZEST)
参加は 139 台でスーパー1500 については参加 15 台であった。
コース設定は短めであったが、競技会運営もよく 4 月に幸田サーキットで開催予定の全日本第 3 戦のシミュレーションも兼ねているようであった。
- ・ 3 月 4 日 (日) 東海シリーズ第 2 戦が幸田サーキットで開催された。(主催: ZEST)
参加は 137 台でスーパー1500 については参加 5 台であった。参加台数は増えている。
チャンピオンシリーズシード選手の模範走行について 9 台の参加申し込みがあったが
出走したのは 5 台で 4 台が不出走であった。
模範走行のため参加費は無料であるが、申し込んだ以上はシード選手の自覚を持って参加していただきたい。
また、スーパー1500 について参加がチャンピオン戦に偏っており、チャンピオン戦参加選手の中には東海シリーズから参加すべきではと思われる参加者もいるようで、次年度は参加選考の必要性を感じた。
- ・ 東海シリーズにおける公式車検方法の議事について審議が行われたが、部会にて再度練り直す事になった。
目的は初級者の多い東海シリーズにおいて、参加選手の車両安全面に関する諸規則の理解度向上、完熟歩行時間のイコール化。
- ・ チャンピオンシリーズ第 2 戦会場にて、能登半島地震義援金を募ったところ 36,843 円の義援金をいただいた。

【ダートトライアル部会】

- ・ 3月18日(日)チャンピオンシリーズ第1戦が山室山ダートウェイで開催された。(主催：PADDOCK)参加は99台でスーパー1500については参加7台であった。
- ・ 能登半島地震による北陸シリーズ開催について第1戦および第2戦については日程変更して開催予定、第3戦については予定通り開催したいが状況が読めない。
また被災状況について報道よりひどいと報告が行われた。

【ラリー部会】

- ・ 3月25日(日)小牧勤労センターにて部会と近畿ラリー部会との合同会議を行った。
- ・ 競技会でのオフィシャル不足を解消するために、オフィシャルグループ設立を検討している。中部チャンピオン戦第1戦に20名ほど派遣したい。
- ・ 合同会議では規則のすり合わせを行った。ランプポッドについては、本年度より禁止とした。
- ・ 3月4日(日)第1回のラリーセミナーを行った。参加8台。
- ・ 2月14日(水)全国振興事業委員会が開催され、オールスターラリーについて昨年の反省と今年の開催について審議を行った。
2009年より地方選手権戦にRJ、RNが適用となるが、今現在98%が2008年まで有効のRBである状況をJAFラリー部会に報告を行う。また2008年の車両についてスーパー1500を盛り込みたい。

【レース部会】

- ・ 2月11日(日)に2月18日(日)開催のレスキュー講習会について会議を行った。
講習会とその会計、認定救急安全委員の報告が行われた。

【審査員グループ】

- ・ 報告事項なし。

【総務広報委員会】

- ・ 報告事項なし。

【支部連絡委員会】

- ・ 報告事項なし。

【JAF登録部会】

- ・ 3月29日(木)の会議報告が行われた。

【JAFスピード行事部会】

- ・ 選手権規定と車両規定の見直しを行っている。

【事務局】

- ・ 5月13日(日)山室山で開催の大同大学クローズドダートトライアルの共済会適用申請について適用となった。
- ・ 事務局長交代について各クラブに通知を行った。
- ・ クラブ更新状況の報告が行われた。

Ⅲ 平成 19 年能登半島地震

- ・ 3 月 25 日(日)午前 9 時 42 分に能登半島沖で発生した地震(正式名称:平成 19 年能登半島地震)は甚大な被害が出ており、中部県下で発生した事と震度 6 強を観測した輪島市の門前地区には、モータースポーツ公園としてダートトライアルコースがある事から J M R C 中部で義援金を募る事が決まった。

方法は郵便振替または現金書留とし期限は 5 月 7 日(月)。ホームページにはお見舞い文と共に上記寄付方法と寄贈者(個人、団体)を掲載する事が決定した。

Ⅳ その他

- ・ 鈴木運営委員長より共済および全国共済に関しての動向報告が行われた。
 - ・ 増田委員より全日本ジムカーナ選手権戦開催の進捗状況について報告が行われた。
 - ・ 勝田委員より 4 月末に理事会開催予定であると報告が行われた。
 - ・ J A F 中部本部小川氏より J A F モータースポーツ振興について交通毎日新聞の記事を用い報告された。また J A F 中部 7 県下のクラブ更新状況についても報告が行われた。
 - ・ J A F 中部本部小川課長が 3 月 31 日付で定年により退職され、後任として愛知支部事業課事業係の金澤勇人氏が紹介され挨拶をいただいた。
- 定年退職された小川氏には J M R C 中部を代表して鈴木運営委員長から記念品が贈られた。

以上報告 総務広報委員会 熊澤滋樹